事例No.	2589
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	かみかわ田舎暮らし推進協会

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

かみかわ田舎暮らし推進協会

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

田根地区・地域づくり協議会　滋賀県長浜市

概　　要

平成18年２月の市町合併を機に、「地域のことは地域で解決する」という機運が高まり、住民主体の地域づくり協議会を平成19年３月市内で最も早く設立した。同年、慶応大学やＭＩＴとのワークショップをきっかけに、毎年、過疎化や少子高齢化などの地域課題の解決を目指した大学との取組がはじまった。近年は企業も加わり、ますます活動が多岐にわたるとともに、年々活発化してきている。



評価された点

・国内外の大学と一般企業との連携の好事例。
・ホームステイの受け入れにとどまらず、学生の発想を活用し、ともにイベントを計画するなどの取組みは独創的である。また、地域として受け入れていることで、地域全体に愛着と誇りが醸成されている。
・合併によってアイデンティティーを失わず、協力し合う姿勢が素敵。また、外部との助け合いのなかで新たな発展をすることはもっと期待できる。
・国内外の大学との協働により、地域の課題解決に向けた新たなプロジェクトを次々に生み出しているところが面白い。大学生の斬新なアイディアを企業の協力も得ながら具現化しており、今後、どんな新たなコラボレーションが生まれるのか、さらなる展開に期待したい。



かみかわ田舎暮らし推進協会　兵庫県神河町

概　　要

高齢化・過疎化により増加し続ける空き家を「地域の宝」として捉え、田舎暮らしをしたい都市住民のニーズに応えるべく移住施策を推進。神河町が進める空き家バンク事業の側方支援として、田舎暮らし体験施設や地域交流施設としてリノベーションするなど空き家の利活用を推進しており、地域交流施設は町の活性化に繋がっている。



評価された点

・空き家を課題ではなく資源ととらえ、リノベーション事業を進め、交流人口と定住人口に寄与してきた。
・空き家対策の一つの範となる取り組み。空き家を資源と再認識し、空き家活用セミナーやチャレンジショップ、空き家再生講習会などのソフト事業を駆使し、都市住民との交流を果たし、実績をあげている。このような、地域の人々を広く巻き込んだアプローチはこれからの対策の参考になる。
・専門学校とのタイアップ等、地域外部との協力により新しい可能性が湧き出している。

